



『聞き書きマップ』 (バージョン3)

インストールマニュアル (暫定版)

科学警察研究所犯罪予防研究室 特任研究官

原田 豊 (著)



このマニュアルのねらい

『聞き書きマップ』は、各地で行われている、身近な地域の「安全点検マップ」づくりを、できるだけ手間やお金をかけずに続けていただけるようにするために、そうした地図づくりを支援するツールとしてわたしたちが開発した、パソコン用のソフトウェアです。

このマニュアルでは、『聞き書きマップ』を、皆様のパソコンにインストールしていただく手順について、実際の作業の順序に沿って説明します。

このマニュアルを読んでいただければ、『聞き書きマップ』のインストールと、その後の設定のやり方が、わかっていただけると思います。

『聞き書きマップ』(バージョン3) インストールマニュアル (暫定版)

目次

① インストールの準備	
1.1 .Net Framework 3.5 (Service Pack 1) のインストール	1
② インストールプログラムのダウンロードと起動	
2.1 『聞き書きマップ』インストールプログラムのダウンロードと解凍	3
2.2 インストールプログラムの起動	4
③ 『聞き書きマップ』のインストール	
3.1 「GPSBabel」のインストール	5
3.2 「ArcGIS EXplorer Desktop」のインストール	7
3.3 「Virtual COM Port Driver」のインストール	8
3.4 『聞き書きマップ』本体のインストール	9
④ 『聞き書きマップ』を使うための最初の設定	
4.1 『聞き書きマップ』のコントロール画面を表示する	10
4.2 コントロール画面の位置を整える	10
4.3 画面の大きさを調整する	11
⑤ こんなときには・・・	
(現在作成中)	12

※このマニュアルは随時改訂されています。これは、2017年2月18日現在の暫定版です。

このマニュアルの最新版は、web ページ「<http://www.skre.jp/>」をご覧ください。

① インストールの準備

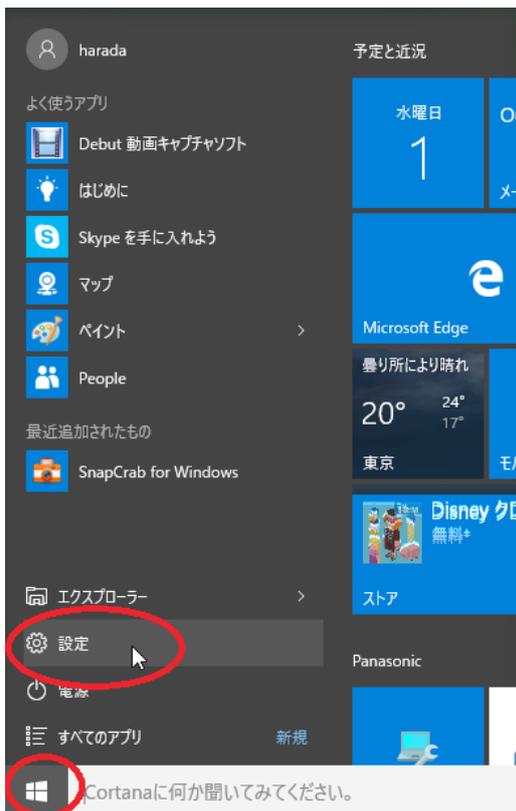
お使いのパソコンが Windows 7 の場合、この「準備」は必要ありません。②へ進んでください。

2.1 .Net Framework 3.5 (Service Pack 1) のインストール

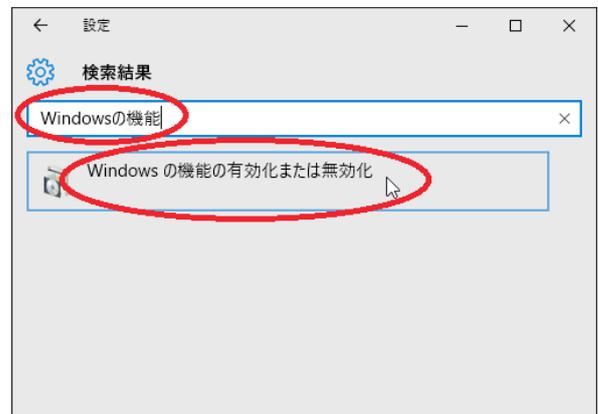
Windows 8、8.1、10 のパソコンでは、『聞き書きマップ』のインストールの前に .Net Framework 3.5 (Service Pack 1) をインストールしておく必要があります。とくに、Windows 10 では、その方法が Windows 8.1 までの方法と大きく変わっているので、注意が必要です。

以下の方法で、インストールしてください。

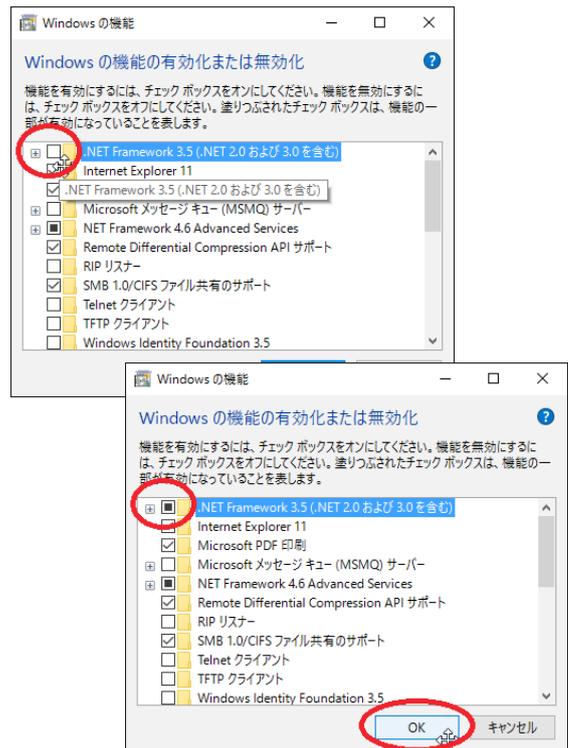
① 「Windows 10 の画面左下の「田」アイコンをクリックして出るメニューから、「設定」をクリックします。



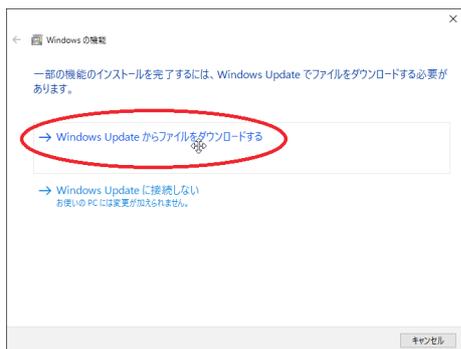
② 「設定」ウィンドウが出るので、その検索欄に「Windows の機能」と入力し、出てきた「Windows の機能の有効化または無効化」ボタンをクリックします。



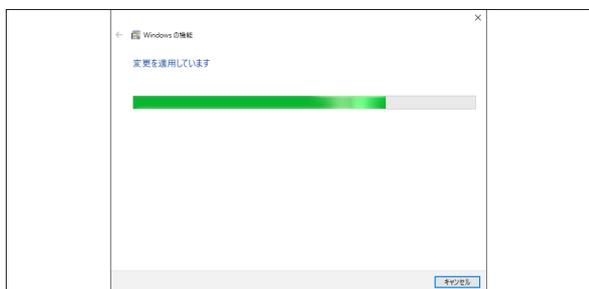
③ 「.Net Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」の項目のチェックボックスが空白になっている場合、そこをクリックして■を表示させて、「OK」ボタンをクリックします。



④ この表示が出るので、「Windows Update からダウンロードする」ボタンをクリックします。



⑤ このような表示が出てインストールが始まるので、しばらく待ちます。

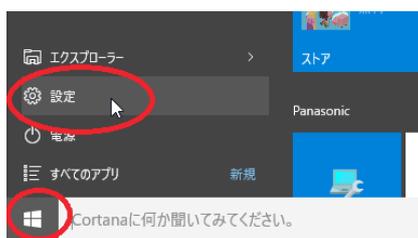


⑥ この表示が出たら、インストールは完了です。「OK」ボタンをクリックします。

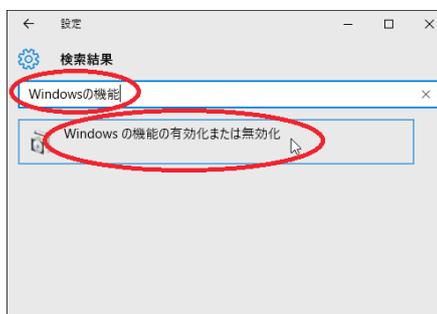


⑦ インストールが完了したことを確認し、(念のため) Windows 10 を再起動します。

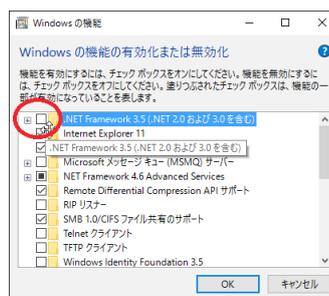
⑧ Windows 10 が再起動したら、あらためて、画面左下の「田」アイコンをクリックして出るメニューから、「設定」をクリックします。



⑨ 「設定」ウィンドウが出るので、その検索欄に「Windowsの機能」と入力し、出てきた「Windowsの機能の有効化または無効化」ボタンをクリックします。



⑩ 「Windowsの機能」ウィンドウで、「.Net Framework 3.5 (.NET 2.0 および 3.0 を含む)」のチェックボックスが■になっていることを確認して、「OK」ボタンをクリックします。



以上で、.Net Framework 3.5 (Service Pack 1) のインストールは完了です。

② インストールプログラムのダウンロードと起動

2.1 『聞き書きマップ』インストールプログラムのダウンロードと解凍

『聞き書きマップ』は、わたしたちの研究成果公開サイト『科学が支える子どもの被害防止』(<http://www.skre.jp>) から、無料でダウンロードして使っていただけます。

以下の方法で、ダウンロードしてください。

❶ このサイトのホームページ（下図）の左側にある「まちあるき記録作成支援ツール『聞き書きマップ』」のボタンをクリックして、『聞き書きマップ』のダウンロード用ページを開きます。

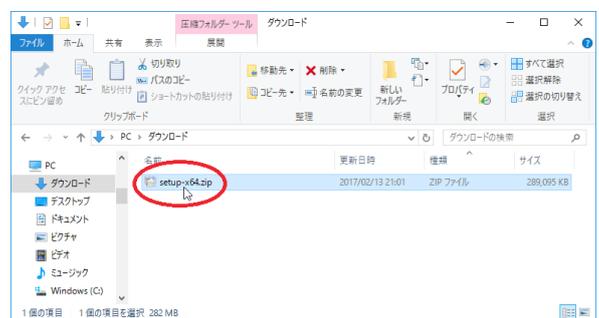


❷ このページの「ダウンロードはこちらから」のボタンをクリックします。

❸ 『聞き書きマップ』のインストールページ（下図）が表示されるので、お使いのパソコンの機種に合わせて、「32-bit 版パソコン用」か「64-bit 版パソコン用」かの、どちらかのボタンをクリックしてください。



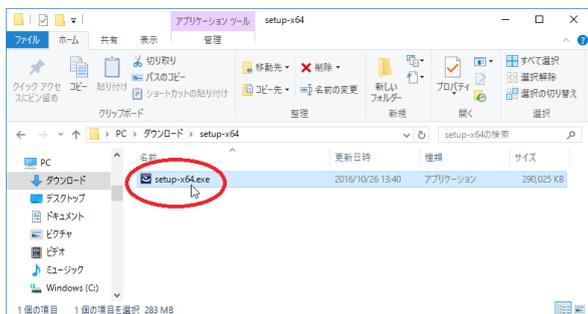
❹ これで、『聞き書きマップ』のインストール用プログラムが、「ZIP 形式」に圧縮された形でダウンロードされます。



❺ ダウンロードされた ZIP 形式のファイルを解凍すれば、『聞き書きマップ』のインストール用プログラムの入ったフォルダができます。

2.2 インストールプログラムの起動

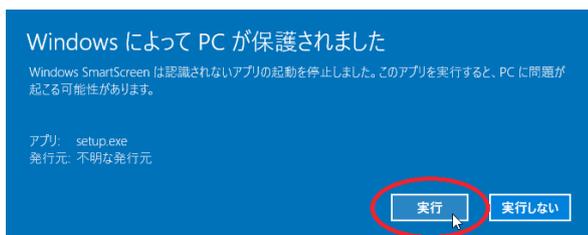
① そのフォルダなかにある「Setup」プログラムをダブルクリックして、インストールを開始します。



② この表示が出たら、「詳細情報」をクリックします。

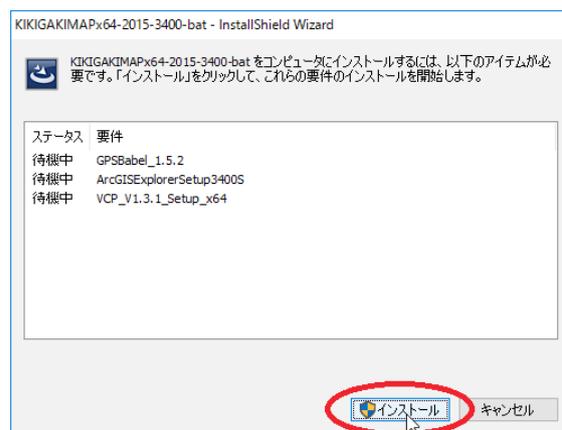


③ すると「実行」ボタンが出るので、これをクリックします。

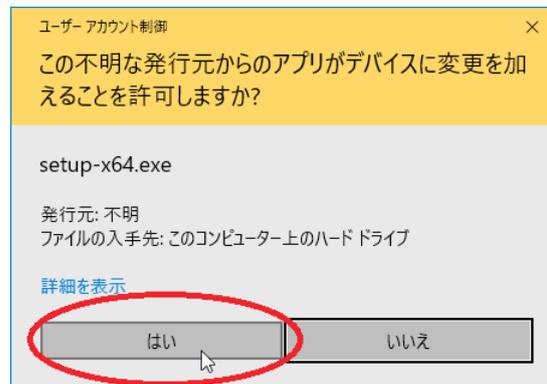


これでインストールプログラムが立ち上がるので、その指示に従って進みます。

④ 「聞き書きマップ 64ビットパソコン版 - InstallShield Wizard」の表示が出るので、「インストール」ボタンをクリックします。



⑤ 「ユーザーアカウント制御」の窓が出た場合は、「はい」をクリックします。



これで、『聞き書きマップ』とその関連プログラムのインストールが始まります。

この後の手順は、③で説明します。

③ 『聞き書きマップ』のインストール

『聞き書きマップ』は、以下の4つのプログラムの組み合わせでできています。

[1] GPSBabel

GPS 受信機からパソコンへ、データを読み込むためのソフトウェアです。

[2] ArcGIS Explorer Desktop

『聞き書きマップ』と組み合わせて使う無料の地図情報ソフトウェアです。

[3] Virtual COM Port Driver

GPS 受信機 (GT-740FL (下図)) を使うために必要なソフトウェアです。



[4] 『聞き書きマップ』本体

『聞き書きマップ』プログラムの本体です。上記の「ArcGIS Explorer Desktop」のアドイン (機能追加プログラム) として作られています。

『聞き書きマップ』のインストールプログラムは、これら4つのプログラムを、順番にインストールしていきます。以下で、その手順を説明します。

コツとヒント

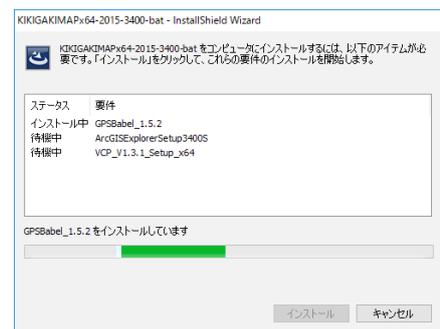
インストールの過程で、いくつかの画面の表示が「英語」になることがあります。※

あまり気にせず、このマニュアルに示した図などを参考に、インストールを続けてください。

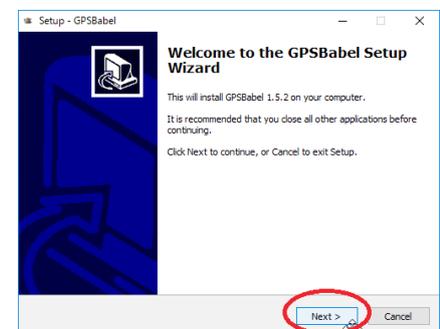
(※これは、[1] GPSBabel と、[3] Virtual COM Port Driver とが、もともと英語版のプログラムであるために起きることです。)

3.1 「GPSBabel」のインストール

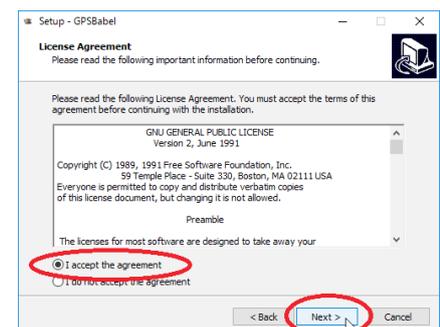
① このように、まず「GPSBabel_1.5.2」のインストールが始まるので、しばらく待ちます。



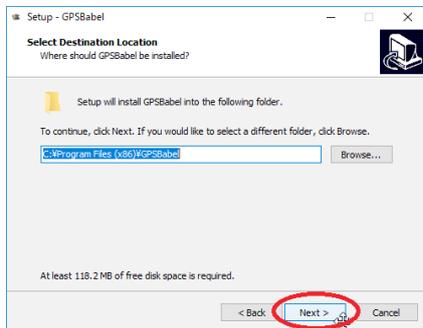
② 「GPSBabel のセットアップ・ウィザードへようこそ」という画面が出るので、「Next」(次へ)をクリックします。



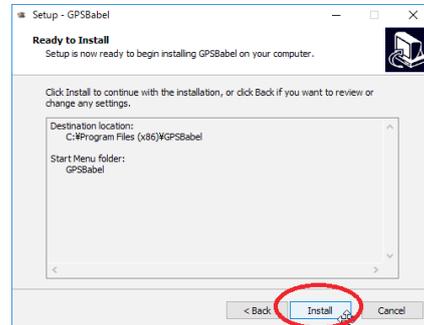
③ 「使用許諾契約」の画面が出るので、「I accept the agreement」(同意します)を選択して、「Next」(次へ)をクリックします。



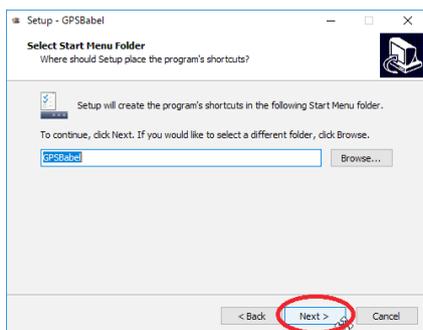
④ 「インストールする場所を選んでください」という画面が出るので、そのまま「Next」(次へ)をクリックします。



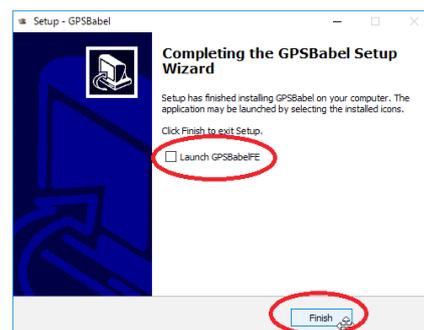
⑦ 「インストールの準備ができました」という画面が出るので、「Install」(インストール)をクリックします。



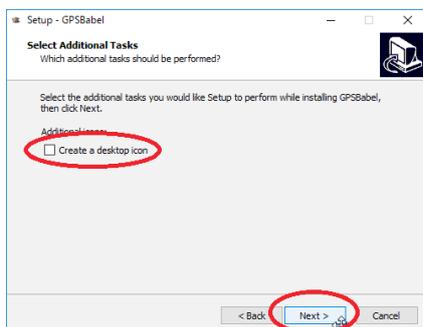
⑤ 「スタートメニューに登録しますか」という画面が出るので、そのまま「Next」(次へ)をクリックします。



⑧ インストールが完了すると、「GPSBabelのセットアップ・ウィザードを完了します」という画面が出るので、「Launch GPSBabelFE」(GPSBabelを起動)のチェックマークを外して、「Finish」(終了)をクリックします。



⑥ パソコンのデスクトップにアイコンを作るかどうか尋ねる画面が出るので、そのまま「Next」(次へ)をクリックします。



これで、「GPSBabel」のインストールは終了です。

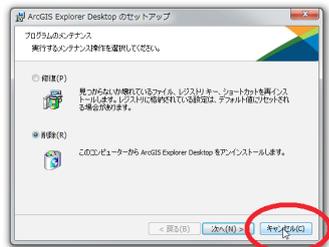
続いて、「ArcGIS Explorer Desktop」のインストールが始まります。

3.2 「ArcGIS Explorer Desktop」のインストール

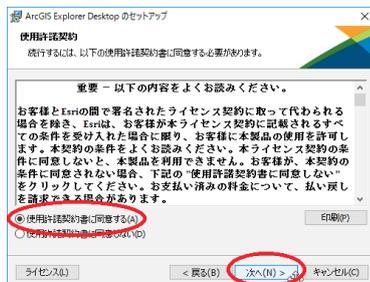
① 続いて、自動的に「ArcGIS Explorer Desktop」のインストールが始まります。この表示が出るので、「次へ>」をクリックします。



☆この表示が出たときは「キャンセル」ボタンを押し（「削除」せず）次に進んでください。



② この表示が出るので、「使用許諾契約書に同意する」を選んで、「次へ(N) >」をクリックします。

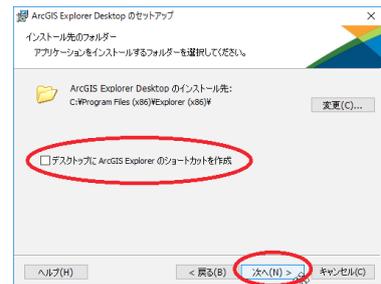


③ この表示が出るので、「このコンピュータを使用するすべてのユーザー(A)」を選んで、「次へ(N) >」をクリックします。

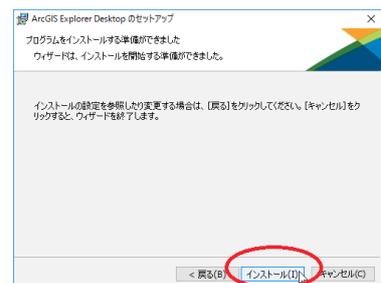


④ この表示が出るので、「デスクトップに ArcGIS Explorer のショートカットを作成」のチェックマ

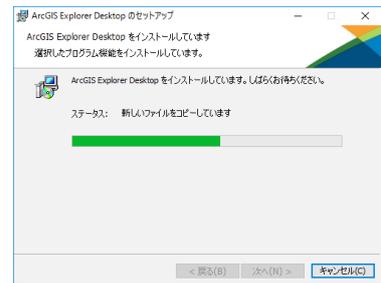
ークを外して、「次へ(N) >」をクリックします。



⑤ 「インストールする準備ができました」の画面が出るので、「インストール(I)」をクリックします。



⑥ インストールが始まると、↓このような表示が出るので、しばらく待ちます。



⑦ この表示が出たら、インストールは完了です。「完了(F)」をクリックします。

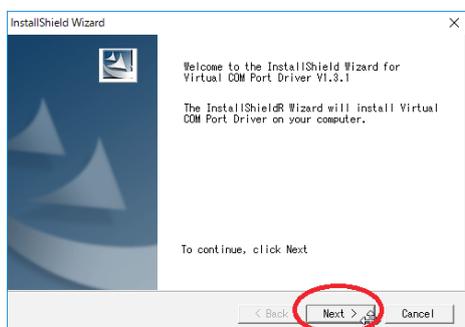


これで、「ArcGIS Explorer Desktop」のインストールは終了です。

続いて、「Virtual COM Port Driver」のインストールが始まります。

3.3 「Virtual COM Port Driver」のインストール

① 続いて、自動的に「Virtual COM Port Driver」のインストールが始まります。この表示が出るので、「Next >」(次へ) をクリックします。



② この表示が出るので、「次へ (N)>」をクリックします。



③ この表示が出たら、インストールは完了です。「完了」をクリックします。



これで、「Virtual COM Port Driver」のインストールは終了です。

続いて、『聞き書きマップ』本体のインストールが始まります。

コツとヒント

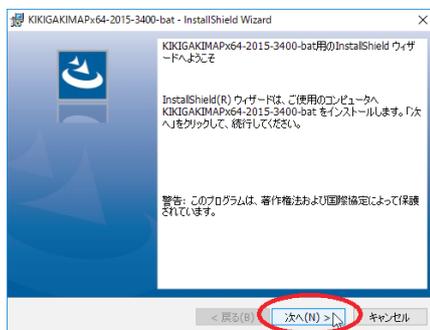
この「Virtual COM Port Driver」のインストールの表示が、ほかのインストールの表示の裏に隠れてしまうことが、ときどきあるようです。

「出るはずの表示が出ない?」と思ったら、今表示されているウィンドウを、少し脇へ動かしてみてください。

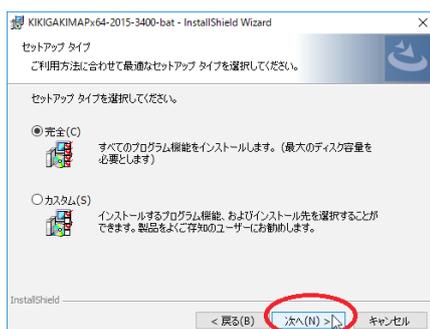
これで、その裏に隠れていた「Virtual COM Port Driver」のインストールの表示が見えるようになることがあります。

3.4 『聞き書きマップ』本体のインストール

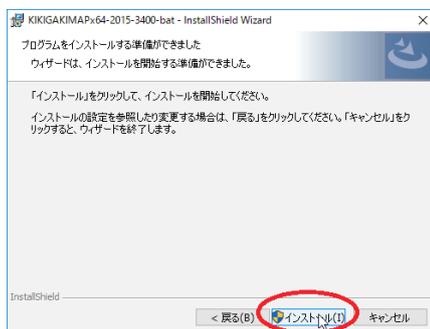
① 続いて、自動的に『聞き書きマップ』本体のインストールが始まります。この表示が出るので、「次へ>」をクリックします。



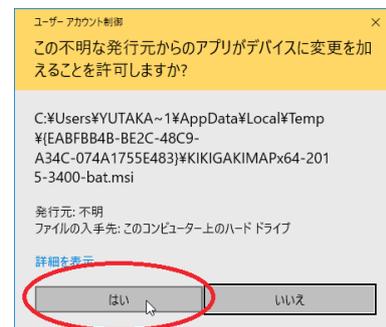
② 「セットアップタイプ」の表示が出るので、「完全(C)」を選んで、「次へ(N)>」をクリックします。



③ この表示が出るので、「インストール(I)」をクリックします。



④ 「ユーザー アカウント制御」の窓が出た場合は、「はい」をクリックします。



⑤ この表示が出たら、インストールは完了です。「完了(F)」をクリックします。



⑥ デスクトップ上に、のアイコンができて

いることを確認してください。

これで『聞き書きマップ』のインストールは完了しました。

ただ、『聞き書きマップ』を最初に使うときには、もう少し設定が必要です。つぎに、その手順を説明します。

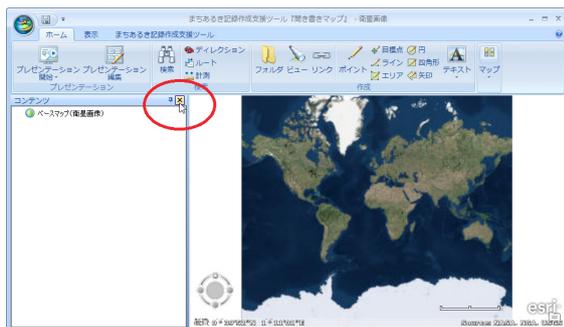
④ 『聞き書きマップ』を使うための 最初の設定

『聞き書きマップ』を使いやすくするための、画面の設定を行います。

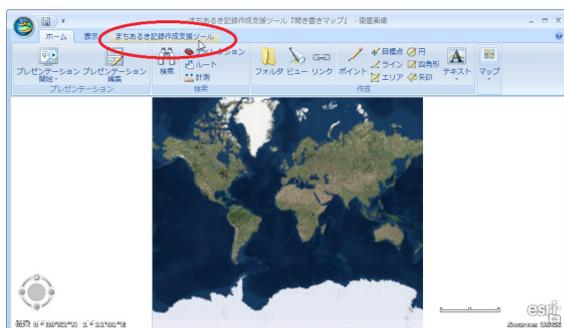
この設定は、『聞き書きマップ』を最初に使うときに、1度だけ行うものです。

4.1 『聞き書きマップ』のコントロール画面を表示する

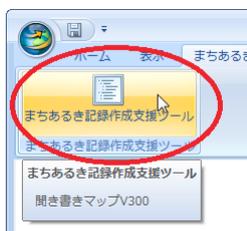
① 『聞き書きマップ』を立ち上げ、「コンテンツ」ウィンドウの右上の ☒ をクリックして、このウィンドウを閉じます。



② 「まちあるき記録作成支援ツール」のタブを選びます。



③ リボン欄に出た「まちあるき記録作成支援ツール」ボタンをクリックします。



4.2 コントロール画面の位置を整える

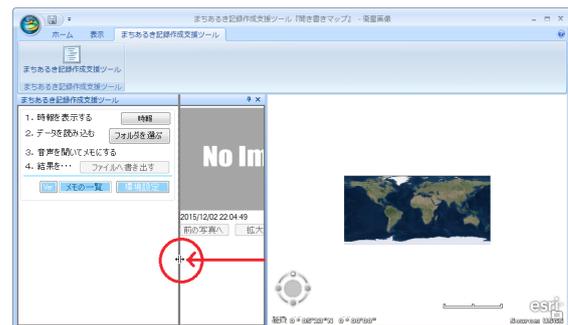
① これで、『聞き書きマップ』のコントロール画面が、フローティング・ウィンドウとして表示されるので、下図のように、その上辺にカーソルを合わせて・・・



② カーソルを左クリックしたままドラッグして、画面左隅の  印に合わせます。



③ 「まちあるき記録作成支援ツール」のコントロールウィンドウの右枠をドラッグして、ちょうどいい幅になるように調整します。

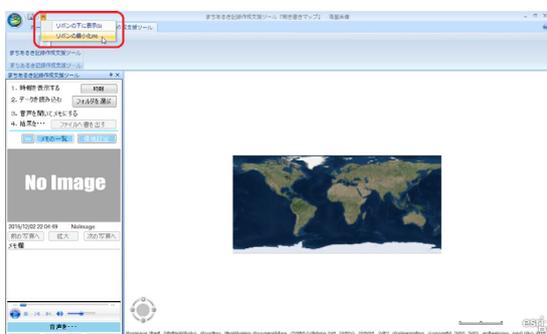


4.3 画面の大きさを調整する

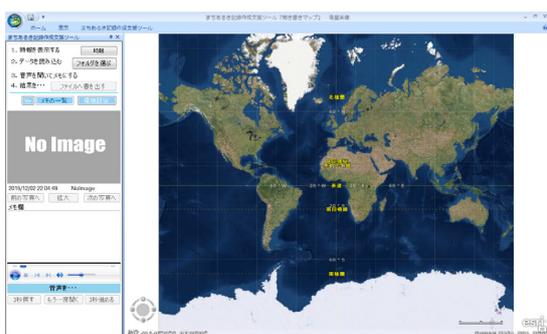
① 地図の画面がなるべく広く取れるように、『聞き書きマップ』のウィンドウを「最大化」します。



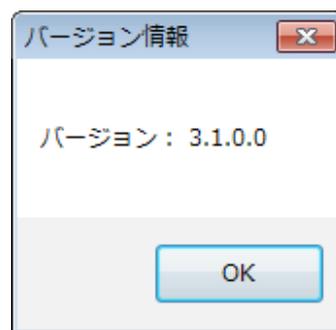
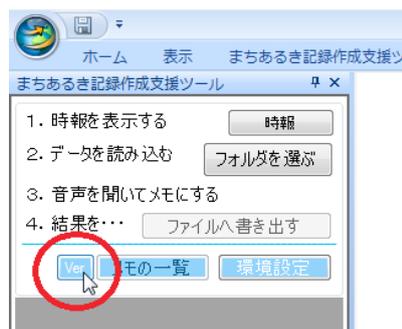
② パソコンの画面の広さが不十分でコントロールウィンドウの下部が表示できない場合は、「リボンの最小化」をしてください。



③ 画面表示がこのようになれば、『聞き書きマップ』の設定は完了です。



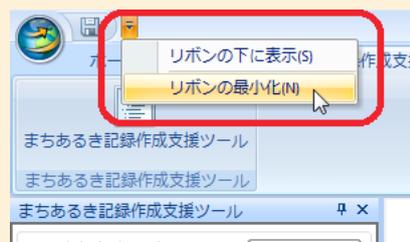
④ 念のため、今回インストールした『聞き書きマップ』のバージョン番号を確認しておきましょう。



このように、「バージョン: 3.1.0.0」となっていればOKです。

コツとヒント

このページの手順②の「リボンの最小化」は、とくに画面の広さが不足気味のノートパソコンなどで使うときに役立ちます。



これによって、音声を「3秒戻す」などのボタンが、無理なく画面内に収まるようになるからです。

⑤ こんなときには・・・

下記のホームページもご覧ください。

<http://www.skre.jp>



■このマニュアルについての問い合わせ先

.....

このマニュアルの最新版は、「予防犯罪学推進協議会」が運営する研究成果公開サイト『科学が支える子どもの被害防止』に掲載されています。ホームページのアドレスは下記のとおりです。

<http://www.skre.jp>

このホームページの左上にある「マニュアルの最新版はこちら」のボタンをクリックしていただければ、「マニュアルダウンロード」のページが表示されます。

また、このマニュアルについてのお問い合わせなどは、上記ホームページの「メニュー」から、「お問い合わせ」をクリックし、表示されるフォームを使ってお送りください。